

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	大手前大学						
事業名	地域の原風景に触れ住民と交流し絆を深める農村交流支援事業						
実施期間	2025年8月31日(日) “やさいの日”						
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・MOMOプラザ(羽曳野の若手農家さんの会「にこみ会」のみなさんとの交流会場) ・七彩ファーム(いちじくの収穫体験場) ・道の駅しらとりの郷 JA農産物直売所「あすかてくるで羽曳野店」 ・SABI・和備佐備(昼食会場、居合切りの鑑賞・体験、日本家屋の見学) 						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	16	7	0	7	5	2	37名

<実施内容>

<p>①道の駅しらとりの郷 JA農産物直売所「あすかてくるで羽曳野店」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすかてくるで羽曳野店長による直売所の紹介や農産物が加工品になるまでの説明、講習会 ・地元野菜や加工品の購入 <p>②SABI・和備佐備にて昼食メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽釜で炊いたおにぎり ・だし巻き卵 ・から揚げ ・ミャンマーのスープ ・ラペットゥ(ミャンマーの発酵葉を使ったサラダ) ・ミャンマーのお漬物 <p>③SABI 和備佐備にて居合切りの鑑賞・体験、日本家屋の見学</p> <p>④羽曳野の若手農家さんの会「にこみ会」のみなさんとの交流会</p> <p>⑤七彩ファームにていちじくの収穫体験</p>
--

<記録写真>



「にこみ会」のみなさんとの集合写真



交流会の様子



昼食の様子

<参加者からのコメント>

<p>リョウ コウケンさん(中国)/LIANG HAOXUAN</p> <p>今回の農業体験イベントでは、いろいろな農家の方に出会い、自分が今まで勉強しなかった農業の知識を改めて学ぶことができました。今回の体験で、私が一番印象に残ったのは、農家と一緒に農業の楽しさを話すことです。自分が人生の大半を町に住んでいて、幼い頃からずっと田舎の生活に憧れていたのですが、農家たちが自分は何故農業をはじめたか、そのきっかけを私たちに教えてくれたおかげで、私は農業に改めて興味を持ちました。将来もし機会があれば、ぜひチャレンジしてみたいと思います。</p>	<p>古市 ひよりさん(日本)/FURUICHI Hiyori</p> <p>いちじく収穫を体験する際にお世話になった農家の方々が若い世代で挑戦されていることに驚きました。元々ご自身の家業ではなく自ら選んだ道であるということを知り、農業の新しい魅力や可能性を感じられる貴重な体験となりました。</p> <p>留学生のみんながこうして日本の農業について触れて興味を持ってくれるのは私にとっても、うれしく思います。</p>
--	---

英語名称(英語版作成用)

団体名	Otemae University
事業名	Rural exchange support project to experience the original landscape of the region, interact with local residents, and deepen bonds